

台風・豪雨への備え

これから10月ごろにかけ、台風や前線の影響により風水害が発生しやすい時季となります。昨年10月、台風19号が東日本を中心に甚大な被害をもたらし、市内でも多くの方が避難所に避難したように、私たちの生活を脅かす規模の災害は、いつ襲ってきてもおかしくありません。

また、災害発生時の避難所での生活は、新型コロナウイルス感染症の集団感染が懸念されています。市では、可能な限り避難所の衛生環境の確保などの対策に努めますが、皆さんも日ごろからの備えと災害時にごのように避難するかを、改めて確認してください。

住んでいる場所の災害リスクを確認しましょう

ハザードマップを参照し、お住まいの地域が土砂災害警戒区域や浸水想定区域に該当するかを確認してください。

災害リスクの確認

入間川洪水ハザードマップ

埼玉県が指定した市内の浸水想定区域・土砂災害警戒区域を示しています。



不老川流域防災マップ(入曽地区防災計画策定協議会作成)

平成28年の台風9号の際、不老川の溢水、入曽調節池と林川の調節池の越水による浸水実績箇所と、浸水時の水の流れを示しています。

不老川流域防災マップはこちら



避難所以外への避難も検討しましょう



避難方法の確認

水害の際は、建物の2階以上に避難する(垂直避難)など、安全の確保が自宅や職場で可能な場合は避難所へ避難する必要はありません。土砂災害や浸水リスクが高い場所に自宅がある場合は、避難所だけでなく親戚の家などに避難することも検討しましょう。

分散避難(水平避難・垂直避難・屋内待避)



避難所の新型コロナウイルス感染症対策

避難所・避難場所では、多くの人が避難をしてくるため「密閉・密集・密接」の3条件がそろいやすく、新型コロナウイルスの感染リスクが高くなると考えられます。市では避難所での新型コロナウイルス感染症の集団感染を防ぐため、次のような対策を行います。

備品の確保	スペースの確保	避難されている方の健康管理
<ul style="list-style-type: none"> 非接触式体温計 マスク アルコール消毒液 フェイスシールド ※物資には限りがあるので、可能な限りご自身で用意をお願いします	体調不良の方専用のスペースやトイレを設けます。発熱や咳などの症状がある方は、他の避難されている方と動線や空間を分けた対策をします。	受付時に避難されている方の体温を計測し、避難者カードに体調を記入していただくことで健康状態を把握します。また、定期的に検温や聞き取りによる健康チェックを行います。

ペットの同行避難

災害発生時は、避難所までペットと同行避難ができます。同行避難とは、飼い主がペットと一緒に避難をすることであり、人とペットが同一の空間で居住をすることを意味するものではありません。

人とペットの避難スペース	日ごろからの準備
避難所には動物アレルギー疾患をお持ちの方や、動物が苦手な方も避難します。そのため、ペットは屋外や倉庫など、飼い主と別のスペースへ避難することになります。	避難所では、飼い主の責任でペットを飼育していただきます。ペットの食料や用品、移動するためのリードやキャリーバッグ、ケージなどご自身で用意してください。飼い主は、日ごろからペットのしつけや健康管理をしっかりと行っておきましょう。

問合せ 危機管理課へ内線3695